

2010年12月30日

MESO 日本事務局

永井裕美子

## 2010年 MESO ミャンマースタディーツアー報告

4月のMESO報告会実施の際に、ミャンマーを訪問して子供達に会いたいというお声をいただき、今回初めて2010年9月2日(木)～9月6日(月)まで3泊5日のミャンマースタディーツアーを企画・実施いたしました。

10代から70代までの会員、一般参加の皆様10名と事務局で、ユワティジ村、ニャウンドン僧院学校などを訪問し、また最終日には、MESOが支援している高校生との交流会で楽しいひとときを過ごしました。お写真では伝えきれないたくさんのお出会いと感動がありました。本年も9月に実施する予定ですので、ぜひご参加ください！

### 9月2日 ベトナム航空にてハノイで乗り継ぎヤンゴンへ



### 9月3日 ユワティジ村訪問 船でヤンゴン郊外から約1時間。村の方々の手料理のおもてなしに皆大感激！





9月4日午前 ニャウンドン僧院学校訪問 2009年に MESO が校舎を建設しました。



9月4日午後 ミャンマー市内観光 黄金に輝くシュエダゴンパゴダ、巨大な寝釈迦仏像チャウタツジパゴダ



9月5日 MESO 高校生達との交流会 皆でおそろいの MESO の Tシャツを着て記念撮影。



### <ツアー参加者感想文>

私は今回 MESO のスタディーツアーを通じて、初めてミャンマーを訪れました。金色に輝くパゴタや、寝釈迦像、色々な匂いが混じるマーケット、その辺に放し飼いされている牛や鶏、素晴らしい史跡があるバガン…何もかもが新鮮で、面白いものばかりでした。特に MESO の子供たちとの交流はとて素晴らしい刺激を受けました。キラキラした笑顔で嬉しそうに自分の夢を語り、勉強できる環境に感謝を忘れずにいて、私も見習わなければいけないと感じました。これから更に多くの子供たちが MESO の支援を通して、夢を追いかけることのできる環境作りが整っていけばいいと思います。そして、私は子供たちに会いにまたミャンマーに行きたいと思いました。(朝井禎子さん:大学生)

ユワンティジ村の高校生たちに、「将来大きくなったら、何になりたいの。」と聞くと、皆医者、エンジニア、歌手、FBI、教師など堂々と答えてくれました。さらに、「どうして?」と聞くと、皆決まって、「将来、成功してミャンマーの子供たちや、村の人の力になりたいから頑張る」と答えてくれます。今度は、高校生たちに「何になりたいの? 大学いっているんでしょ」と聞かれると、大きな夢も、立派な理由も語れず、返答に困ってしまいました。ミャンマーの子供達は、勉強したくても経済的な理由で勉強ができない中、私はというとキャンパスライフに憧れて大学に入学し、将来は、社会にでて、自分で自立したい程しか考えていなかった為、恥ずかしくなっていました。いかに、自分が恵まれていたかを自覚すると共に、それを目一杯活かさなければと思うようになりました。高校生達は、「本当に私達が学校に通えるように支援してくれて有難う」と何度も感謝していました。通訳の方が、「ミャンマーでは高校で勉強できるだけで将来が開ける」と説明して下さいました。向学心に燃えた子供を MESO が支援し、我々の寄付でその子が高校に進学できるという MESO 活動の有意義さを再確認できました。(桜井優子さん:大学生)